

令和 6 年度 学 習 の 手 引 き

教科名	公民	年次	1学年	使用教材	私たちの公共(清水書院)
科目名	公共		必修		私たちの公共ワークノート(清水書院)
		単位	2		最新公共資料集2024(第一学習社)

科目の目標

- 1 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 2 現実社会の諸課題の解決に向け、選択・判断の元となる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多面的・多角的に考察した上での公正に判断する力、合意形成や社会参画などを意識し議論する力を養う。
- 3 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や理解を通し、人間としての在り方生き方や自国を愛し平和と繁栄を図ること、主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さの自覚を深める。

学習方法

- 1 基礎的用語の定着を行いながら、思考・判断に結びつける授業を行います。
- 2 日常から学習に前向きに取り組み、必要に応じて問題演習や家庭学習に取り組みましょう。
- 3 ノートを用意する必要はありません。授業では学習プリントを用い、ファイリングをしてもらいます。
- 4 日々の積み重ねが大切な科目です。授業の理解のためにわからないところを放置しないようにしましょう。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点		評価の観点の趣旨
①	知識・技能	選択や判断の手掛かりとなる概念や理論、現代の諸課題について理解しているとともに、倫理や政治・経済等に関わる諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
②	思考・判断・表現	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりするなど、合意形成や社会参画を視野に入れながら、構想したことを議論できる。
③	主体的に学習に取り組む態度	国家および社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
A B C	6	3
B B B	5	
B B C	4	
A C C	3	2
B C C	2	
C C C	1	
		1

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備 考
定期考査	◎	○		年4回の定期考査を実施します
プリントの記述内容	◎	○		プリントの回収などを通して評価を行います
宿題提出	○		◎	
レポート提出	○		◎	
グループワーク・ペアワーク		◎	○	
行動の観察			◎	

◎特に重視する点

内容のまとめりごとの評価規準

科目名: 公共

評価の観点 内容のまとめり		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	公共の扉	・自らの体験の振り返りを通し、在り方生き方について理解している。 ・個人や社会全体の幸福を重視しながら、現代の諸課題についての考え方を身につけている。 ・公共的な空間における基本的原理について理解している。	・社会に参画する自立した主体になるため、他者との協働も踏まえながら多面的・多角的な視点で考察・表現できる。 ・幸福、正義、公正などに着目し、公共的な空間における基本的原理について、考察する活動を通し、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
2	自立した主体として よりよい社会の形成に参画 する私たち	・憲法の下、利害調整や適正な手続きによって、権利や自由が保障されたり、よりよい社会が築かれるものであることについて理解している。 ・政府により、資源配分や市場経済システムが円滑に機能し国民の福祉の向上に寄与していることを理解している。 ・国際法や、国際機関の意義や発達、役割について理解し、また、自由貿易と保護貿易の違い、経済格差についても理解している。	・自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
3	持続可能な社会 づくりの主体となる私たち	「地域の創造」「よりよい国家・社会の構築」「平和で安定した国際社会の形成」のいずれかの事例について、共に生きる社会を築くための課題について理解している。	「地域の創造」「よりよい国家・社会の構築」「平和で安定した国際社会の形成」のいずれかの事例を通し、共に生きる社会を築くための課題について、その課題解決に向けて事実を基に考察し、論理立てて自分の考えを説明し、表現している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
4				
5				
6				
7				
8				

年間学習計画

教科(公民)学年(1)
履修形態(必修)

科目(公共)
单位(2)

[illegible]

単元の計画

教科名		公民	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		公共	教材 題材	教科書		
単位数		2		資料集		
単元名		公共の扉		ワークノート		
内容のまとめ		(公共の扉)		配布プリント Chromebook		
単元の目標		知識・技能 ・自らの体験の振り返りを通し、在り方生き方について理解する。 ・個人や社会全体の幸福を重視しながら、現代の諸課題についての考え方を身につける。 ・公共的な空間における基本的原理について理解する。	思考・判断・表現 ・社会に参画する自立した主体になるため、他者との協働も踏まえながら多面的・多角的な視点で考察・表現する。 ・幸福、正義、公正などに着目し、公共的な空間における基本的原理について、考察する活動を通し、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。	主体的に学習に取り組む態度 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方や基本原理等について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決する。		
単元の学習内容		第1章: 青年期や社会の一員として生きていくための素地について学習する。				
		第2章: 幸福な社会とはどんな社会であるかについて学習する。				
		第3章: 公共的な空間における基本原理(民主主義、立憲主義、法の必要性)について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 ・自らの体験の振り返りを通し、在り方生き方について理解している。 ・個人や社会全体の幸福を重視しながら、現代の諸課題についての考え方を身につけている。 ・公共的な空間における基本的原理について理解している。	思考・判断・表現 ・社会に参画する自立した主体になるため、他者との協働も踏まえながら多面的・多角的な視点で考察・表現できる。 ・幸福、正義、公正などに着目し、公共的な空間における基本的原理について、考察する活動を通し、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。	主体的に学習に取り組む態度 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方や基本原理等について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
主な 評価 方法	定期考査	○	○			
	プリントの記述内容	○	○	○		
	グループ/ペアワーク	○	○	○		
	行動の観察	○	○	○		
	宿題提出	○	○			
配当時間		10時間				
補足等						

単元の計画

教科名		公民	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		公共	教材 題材	教科書		
単位数		2		資料集		
単元名		私たちの生活と法		ワークノート		
内容のまとめ		(自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち)		配布プリント Chromebook		
単元の目標		知識・技能 憲法の下、利害調整や適正な手続きによって、権利や自由が保障されたり、よりよい社会が築かれるものであることについて理解する。	思考・判断・表現 自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現する。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する。		
単元の学習内容		・個人と法の関係性について学習する。 ・日本国憲法の基本原理について学習する。 ・日本国憲法の基本的人権のうち、平等権や自由権、生存権、新しい人権について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 憲法の下、利害調整や適正な手続きによって、権利や自由が保障されたり、よりよい社会が築かれるものであることについて理解している。	思考・判断・表現 自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現している。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
主な 評価 方法	定期考査	○	○			
	プリントの記述内容	○	○	○		
	グループ/ペアワーク	○	○	○		
	行動の観察	○	○	○		
	宿題提出	○	○			
配当時間		10時間				
補足等						

単元の計画

教科名		公民	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		公共	教材 題材	教科書		
単位数		2		資料集		
単元名		私たちの生活と政治		ワークノート		
内容のまとめ		(自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち)		配布プリント Chromebook		
単元の目標		知識・技能 憲法の下、利害調整や適正な手続きによって、権利や自由が保障されたり、よりよい社会が築かれるものであることについて理解する。	思考・判断・表現 自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現する。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する。		
単元の学習内容		・日本の統治機構について、世界の統治機構と対照しながら学習する。 ・国会、内閣、裁判所のしくみとはたらきについて学習する。 ・地方自治や選挙の仕組みと課題について学習する。 ・民主政治において政党や世論が果たす役割と課題について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 憲法の下、利害調整や適正な手続きによって、権利や自由が保障されたり、よりよい社会が築かれるものであることについて理解している。	思考・判断・表現 自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現している。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
主な 評価 方法	定期考査	○	○			
	プリントの記述内容	○	○	○		
	グループ/ペアワーク	○	○	○		
	行動の観察	○	○	○		
	宿題提出	○	○			
配当時間		12時間				
補足等						

単元の計画

教科名		公民	対象学年・生徒	1学年 必修		
科目名		公共	教材 題材	教科書	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
単位数		2		資料集		
単元名		平和主義と日本		ワークノート		
内容のまとめ		(自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち)		配布プリント Chromebook		
単元の目標		知識・技能 憲法の下、利害調整や適正な手続きによって、権利や自由が保障されたり、よりよい社会が築かれるものであることについて理解する。	思考・判断・表現 自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現する。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する。		
単元の学習内容		・日本の安全保障の在り方について学習する。 ・日本が戦後行ってきた外交が果たした役割と課題について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 憲法の下、利害調整や適正な手続きによって、権利や自由が保障されたり、よりよい社会が築かれるものであることについて理解している。	思考・判断・表現 自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現している。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
主な評価方法	定期考査	○	○			
	プリントの記述内容	○	○	○		
	グループ/ペアワーク	○	○	○		
	行動の観察	○	○	○		
	宿題提出	○	○			
配当時間		4時間				
補足等						

単元の計画

教科名		公民	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・コミュニケーション力
科目名		公共	教材 題材	教科書		
単位数		2		資料集		
単元名		私たちの生活と経済		ワークノート		
内容のまとめ		(自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち)		配布プリント Chromebook		
単元の目標		知識・技能 政府により、資源配分や市場経済システムが円滑に機能し国民の福祉の向上に寄与していることを理解する。	思考・判断・表現 自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現する。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する。		
単元の学習内容		・市場メカニズムなどの経済の基礎的な仕組みや概念について学習する。 ・市場の失敗やその対応について学習する。 ・企業の役割と働きについて学習する。 ・GDPやGNI、財政と租税のしくみと機能について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 政府により、資源配分や市場経済システムが円滑に機能し国民の福祉の向上に寄与していることを理解している。	思考・判断・表現 自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現している。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
主な 評価 方法	定期考査	○	○			
	プリントの記述内容	○	○	○		
	グループ/ペアワーク	○	○	○		
	行動の観察	○	○	○		
	宿題提出	○	○			
配当時間		14時間				
補足等						

単元の計画

教科名		公民	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・コミュニケーション力
科目名		公共	教材 題材	教科書		
単位数		2		資料集		
単元名		私たちの生活と国際社会		ワークノート		
内容のまとめ		(自立した主体として よりよい社会の形成に参画する私たち)		配布プリント Chromebook		
単元の目標		知識・技能 国際法や、国際機関の意義や発達、役割について理解し、また、自由貿易と保護貿易の違い、経済格差についても理解する。	思考・判断・表現 自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現する。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する。		
単元の学習内容		・国際社会における国家主権の意味、国際関係を規律する国際法の意義及びその発達について学習する。				
		・国際連合と国際機関の意義・役割について理解する。				
		・第二次世界大戦後の核軍縮の取り組みや経済のグローバル化、経済格差について学習する。				
		・SDGsなど、日本が国際社会で果たすべき役割について学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 国際法や、国際機関の意義や発達、役割について理解し、また、自由貿易と保護貿易の違い、経済格差についても理解している。	思考・判断・表現 自立した主体として具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、他者と協働して考察したことを、論理立てて表現している。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
主な評価方法	定期考査	○	○			
	プリントの記述内容	○	○	○		
	グループ/ペアワーク	○	○	○		
	行動の観察	○	○	○		
	宿題提出	○	○			
配当時間		8時間				
補足等						

単元の計画

教科名		公民	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・表現力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
科目名		公共	教材 題材	教科書		
単位数		2		資料集		
単元名		持続可能な社会を創る		ワークノート		
内容のまとめ		(持続可能な社会づくりの主体となる私たち)		配布プリント Chromebook		
単元の目標		知識・技能 「地域の創造」「よりよい国家・社会の構築」「平和で安定した国際社会の形成」のいずれかの事例について、共に生きる社会を築くための課題について理解する。	思考・判断・表現 「地域の創造」「よりよい国家・社会の構築」「平和で安定した国際社会の形成」のいずれかの事例を通し、共に生きる社会を築くための課題について、その課題解決に向けて事実を基に考察し、論理立てて自分の考えを説明し、表現する。。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
単元の学習内容		・「地域の創造」「よりよい国家・社会の構築」「平和で安定した国際社会の形成」のいずれかの事例について、学習する。				
単元の評価規準		知識・技能 「地域の創造」「よりよい国家・社会の構築」「平和で安定した国際社会の形成」のいずれかの事例について、共に生きる社会を築くための課題について理解している。	思考・判断・表現 「地域の創造」「よりよい国家・社会の構築」「平和で安定した国際社会の形成」のいずれかの事例を通し、共に生きる社会を築くための課題について、その課題解決に向けて事実を基に考察し、論理立てて自分の考えを説明し、表現している。	主体的に学習に取り組む態度 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
主な評価方法	定期考査	○	○			
	プリントの記述内容	○	○	○		
	グループ/ペアワーク	○	○	○		
	行動の観察	○	○	○		
	宿題提出	○	○			
配当時間		12時間				
補足等						